

ファーストイーサネット・スイッチ

CentreCOM® FS702TXL/FCL/FTL ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS702TXL/FCL/FTL(以下、FS702TXL/FS702FCL/FS702FTL)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品は、コンパクトでメディア変換に最適なファーストイーサネット・スイッチです。切替使用が可能な10BASE-T/100BASE-TX、10BASE2、10BASE5ポートに加えて、FS702TXLは10BASE-T/100BASE-Tポート、FS702FCL/FS702FTLは100BASE-FXポートを装備し、ネットワークの適切な箇所に挿入するだけで、異なる2つのセグメントをブリッジ接続し、トラフィックを低減することができます。

特長

8Kのアドレス登録数をサポート
10BASE-T/100BASE-TXポート、および100BASE-FXポートのFull Duplex/Half Duplex手動設定が可能
10BASE-T/100BASE-TXポートの10Mbps/100Mbps手動設定が可能
プッシュスイッチにより切替可能なカスケードポートを1ポート装備
Half Duplex時のフローコントロール/バックプレッシャ機能をサポート
ポートごとの通信状況が一目でわかるLEDを装備
電源内蔵型

梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、以下のものが入っているかを確認してください。

FS702TXL/FS702FCL/FS702FTL本体(1台)
電源ケーブル(1本)
製品保証書(3年保証)
製品仕様書(英文)
調査依頼書
お客様インフォメーション登録カード
シリアル番号シール
ユーザーマニュアル(本書)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

各部の名称と機能

MEDIA切替スイッチ

PORT1で、AUIポートを使用するか、BNCポートを使用するかを選択を行うためのスイッチです。出荷時設定は「AUI」(下側)です。

BNC(上側)

BNCポートを使用して、10BASE2の接続を行う場合は、こちらに設定します。

AUI(下側)

AUIポートを使用して、10BASE5の接続を行う場合は、こちらに設定します。

SPEED切替スイッチ

10BASE-T/100BASE-TXポートの通信速度を設定するためのスイッチです。出荷時設定は「100M」(下側)です。

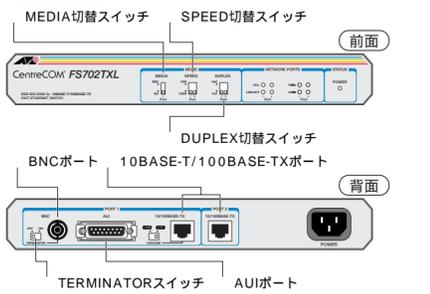
10M(上側)

10BASE-T/100BASE-TXポートの通信速度を10Mbpsに設定します。

100M(下側)

10BASE-T/100BASE-TXポートの通信速度を100Mbpsに設定します。

FS702TXL



FS702FCL

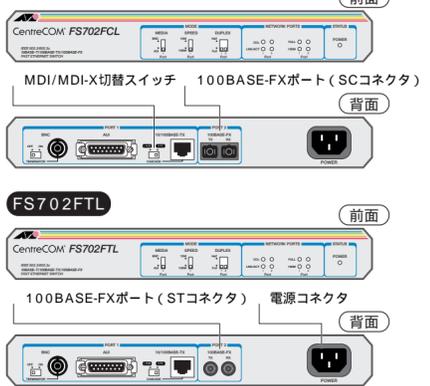


図1 外観図

DUPLEX切替スイッチ

10BASE-T/100BASE-TXポート、および100BASE-FXポートの通信モードを設定するためのスイッチです。出荷時設定は「Full」(下側)です。

Full(上側)

10BASE-T/100BASE-TXポート、および100BASE-FXポートの通信モードをFull Duplexに設定します。

Half(下側)

10BASE-T/100BASE-TXポート、および100BASE-FXポートの通信モードをHalf Duplexに設定します。

BNCポート

10BASE2のシンワイヤークーブル(細径同軸ケーブル)を接続するためのコネクタです。

TERMINATORスイッチ

BNCポートに内蔵された50Ωのターミネータ(終端器)のON/OFFが設定できます。出荷時設定は「OFF」(左側)です。

ON(右側)

本製品をシンワイヤークーブルの端に設置する場合は、「ON」に設定し、シンワイヤークーブルのBNCコネクタ(オス)を直接接続します。

OFF(左側)

本製品をシンワイヤークーブルの途中に設置する場合は、「OFF」に設定し、T型バルブを用いて2本のシンワイヤークーブルの両端はそれぞれ50ΩのBNC用ターミネータで終端させ、T型バルブに接続してください。

AUIポート

10BASE5のトランシーバ(AUI)ケーブルを接続するためのコネクタです。

10BASE-T/100BASE-TXポート

10BASE-T/100BASE-TXのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。PORT1は、MDI/MDI-X切替スイッチによって、カスケード接続用ポートとして使用することができます。

MDI/MDI-X切替スイッチ

PORT1の10BASE-T/100BASE-TXポートを、カスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-T/100BASE-TXポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。出荷時設定は「X PC」(右側)です。

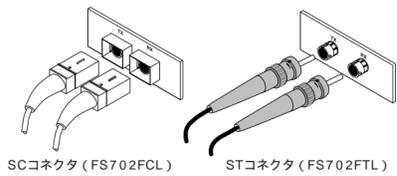
= HUB(左側)

カスケード接続をするときのカスケードポート(MDI)として使用します。

X PC(右側)

通常の10BASE-T/100BASE-TXポート(MDI-X)として使用します。

100BASE-FXポート(SCコネクタ/STコネクタ)
100BASE-FXのマルチモード光ファイバークーブルを接続するためのコネクタです。
FS702FCLのコネクタはSC型、FS702FTLのコネクタはST型です。



電源コネクタ

電源ケーブルを接続するためのコネクタです。

LED表示

NETWORK PORTS		STATUS	
COL	○	FULL	○
LNK/ACT	○	100M	○
1 Port		1 Port	

名称	色	内容
POWER	緑	電源が正しく供給されているときに点灯します。
COL	橙	ポートでコリジョンが発生しているときに点滅します。(Half Duplex時)
LNK/ACT	緑	ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。(注1) また、ポートでパケットの送信が行われているときに点滅します。
FULL	橙	ポートがFull Duplexで通信しているときに点灯します。
100M	緑	10BASE-T/100BASE-TXポートで、SPEED切替スイッチが「100M」に設定されているときに点灯します。(注2)

(注1) BNC/AUIポートを使用している場合は、LNK LEDは点灯しません。

(注2) 100BASE-FXポートの通信速度は100Mbps固定です。100M LEDは電源投入と同時に点灯します。

設置するまえに

設置場所

本製品を設置する場所については、次の点にご注意ください。

電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。充分な換気ができるように、本体側面をふさがないように設置してください。テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。

電源

本製品をAC100V～120Vの電源電圧で使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。また、指定された電源電圧以外で使用しないでください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

接続のしかた

ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。

	種類	最長距離
10BASE-T	UTPケーブル (カテゴリ-3/4/5)	100m
100BASE-TX	UTPケーブル (カテゴリ-5)	100m
100BASE-FX	マルチモード光ケーブル	412m (Half Duplex時)
		2000m (Full Duplex時)
10BASE2	シンワイヤークーブル (5mm径)	185m
10BASE5 (幹線)	イエロー(同軸)ケーブル (12mm径)	500m
10BASE5 (支線)	トランシーバ(AUI) ケーブル	50m

起動と停止

電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込むと起動します。

本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだまま、ソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

通信速度/通信モード

10BASE-T/100BASE-TXポート

SPEED/DUPLEX切替スイッチを使用して、次の表の印の組み合わせになるように設定してください。接続先の機器(ポート)がオートネゴシエーションの場合は、本製品のDUPLEX切替スイッチを「Half」に設定します。

		CentreCOM FS702TXL/FCL/FTL 10BASE-T/100BASE-TXポート			
		10M Half	10M Full	100M Half	100M Full
接続先	10M Half				
	10M Full				
	100M Half				
	100M Full				
オートネゴ					

100BASE-FXポート

100BASE-FXポートの通信速度は100Mbps固定です。通信モードは接続先の機器に合わせてDUPLEX切替スイッチを「Full」か「Half」に設定します。

BNC/AUIポート

BNC/AUIポートの通信速度は10Mbps固定、通信モードはHalf Duplex固定となります。

接続手順

1. 本体背面の各ポートと接続先の機器を適切なケーブルで接続します。

10BASE-T/100BASE-TXポート

UTPケーブルで接続します。SPEED/DUPLEX切替スイッチを使用して、接続先の機器に合わせた通信速度/通信モードに設定します。

100BASE-FXポート

マルチモード光ファイバークーブルで接続します。マルチモード光ファイバークーブルは、2本で1対となっています。一方の機器のTXをもう一方の機器のRXと、一方の機器のRXをもう一方の機器のTXと接続します。

DUPLEX切替スイッチを使用して、接続先の機器に合わせて「Full」か「Half」に設定します。

BNCポート

シンワイヤークーブルで接続します。MEDIA切替スイッチを「BNC」(上側)にして、TERMINATORスイッチを設定します。(TERMINATORスイッチの設定については、「トラブルシューティング」を参照してください。)

AUIポート

トランシーバ(AUI)ケーブルを用いてトランシーバを接続し、MEDIA切替スイッチを「AUI」(下側)にします。

2. 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。

3. 本体前面のPOWER LEDが点灯したことを確認します。各ケーブルが正しく接続され、接続先の機器の電源が入っていれば、接続したポートのLNK/ACT LEDが点灯します。

カスケード接続

PORT1の10BASE-T/100BASE-TXポートを使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続することができます。また、スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

カスケード接続をする場合は、本体背面PORT1の10BASE-T/100BASE-TXポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続し、MDI/MDI-X切替スイッチを「= HUB(MDI)」に設定します。UTPケーブルのもう一方の端は、接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。

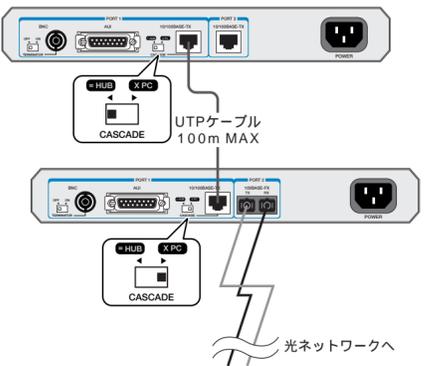


図2 カスケード接続の例

ネットワーク構成例

PORT1の各メディアに対応した構成例を図で示します。

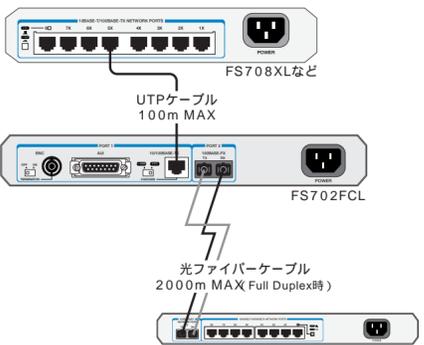


図3 10BASE-T/100BASE-TXポートを使用した例

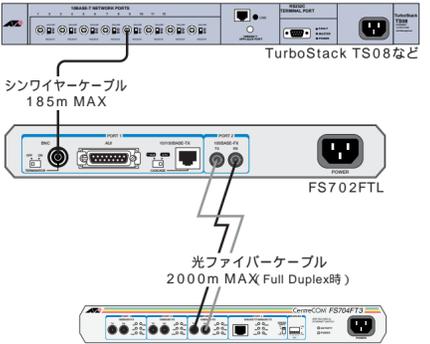


図4 BNCポートを使用した例

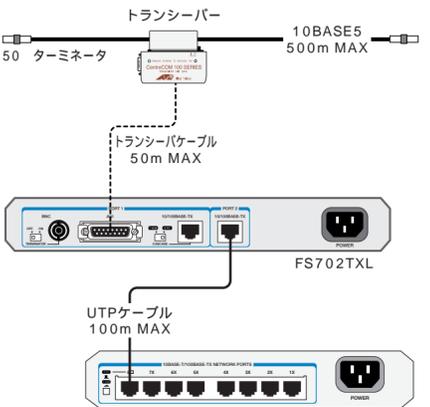


図5 AUIポートを使用した例

トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次のことを確認してください。

POWER LEDは点灯していますか?

POWER LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

LNK/ACT LEDは点灯していますか?

LNK/ACT LEDは接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているか確認してください。

また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続されているか確認してください。

光ファイバークーブルが正しく接続されているか、正しい光ファイバークーブルを使用しているか、光ファイバークーブルが断線していないかなどを確認してください。ケーブルは、次のようなGI型マルチモード光ファイバークーブルを使用してください。

石英(μm)		波長(μm)		伝送特性	
コア	クラッド			伝送損失	伝送帯域
62.5	125	1.3	1.5	dB/km以下	500 MHz・km以上
50	125	1.3	1.0	dB/km以下	500 MHz・km以上

また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。光ファイバークーブルは、Full Duplexの場合、最長2000m、Half Duplexの場合、最長412mと規定されています。さらに、光ファイバークーブルがクロス接続 TX/RX、RX/TX になっているかを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するかを確認してください。

各スイッチの設定は正しく行われていますか？

MEDIA 切替スイッチの設定を確認してください。PORT1で、BNCポートを使用して、10BASE2の接続を行う場合は「BNC」に、AUIポートを使用して、10BASE5の接続を行う場合は「AUI」に設定します。

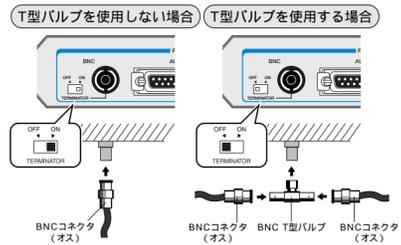
MDI/MDI-X 切替スイッチの設定を確認してください。PORT1の10BASE-T/100BASE-TXポートを使用し、リピーターやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のMDI/MDI-X切替スイッチを「=HUB(MDI)」に設定してください。PORT1の10BASE-T/100BASE-TXポート同士をカスケード接続する場合は、一方を「=HUB(MDI)」に、もう一方を「X PQ(MDI-X)」に設定します。

通信速度 / 通信モードの設定を確認してください。10BASE-T/100BASE-TXポートは、SPEED/DUPLEX切替スイッチを使用して、接続先の機器(ポート)と同じ通信速度/通信モードになるように設定してください。オートネゴシエーションとFull Duplex固定の両方をサポートしている機器(ポート)と本製品をFull Duplexで通信させる場合は、接続先の機器(ポート)をFull Duplex固定に設定してください。接続先の機器(ポート)がオートネゴシエーションのみをサポートしている場合は、DUPLEX切替スイッチを「Half」に設定します。

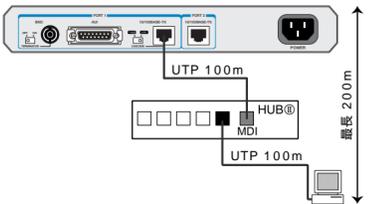
100BASE-FXポートの通信速度は、SPEED切替スイッチの設定に関わらず、100Mbps固定となります。通信モードは、DUPLEX切替スイッチを使用して、接続先の機器(ポート)に合わせて「Full」か「Half」に設定します。

BNC/AUIポートは、SPEED/DUPLEX切替スイッチの設定に関わらず、通信速度は10Mbps固定、通信モードはHalf Duplex固定となります。

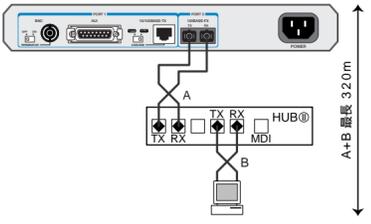
TERMINATORスイッチの設定は正しいですか？シンワイヤークーブルの両端にBNC用ターミネータが正しく接続されているかどうか、また、両端のターミネータ以外に余計なターミネータが接続されていないかどうか確認してください。TERMINATORスイッチが「ON」に設定されている場合は、50 の内蔵ターミネータがONの状態となりますので、ターミネータを接続する必要はありません。シンワイヤークーブルのBNCコネクタを直接BNCポートへ接続します。BNCポートにT型バルブを用いて、2本のシンワイヤークーブルを接続する場合は、内蔵ターミネータをOFFの状態にする必要があります。その場合は、TERMINATORスイッチを「OFF」に設定し、それぞれ50 のターミネータを接続した2本のシンワイヤークーブルをT型バルブに接続してください。



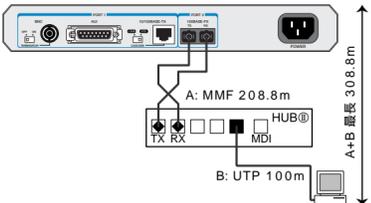
100Mリピーター使用時の最大ケーブル長
2セグメントの最大ケーブル長(Class IIリピーター1台)
Class IIリピーター1台を使用した構成で、2セグメントとも100BASE-TXの場合、最大ケーブル長は200m以内となります。



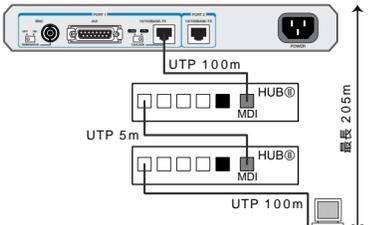
Class IIリピーター1台を使用した構成で、2セグメントとも100BASE-FXの場合は、最大ケーブル長(セグメントA + セグメントBの合計)が320m以内となります。



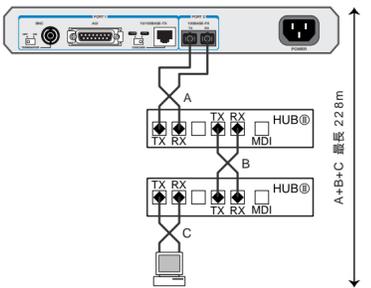
Class IIリピーター1台を使用した構成で、各セグメントに100BASE-TXと100BASE-FXが混在している場合は、最大ケーブル長(セグメントA + セグメントBの合計)が308.8m以内となります。100BASE-TXのセグメントBに最大100mを使用した場合、308.8m - 100m = 208.8mが100BASE-FXで使用できる最大ケーブル長となります。



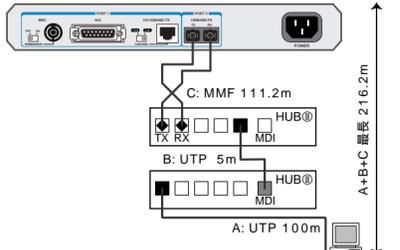
3セグメントの最大ケーブル長(Class IIリピーター2台)
Class IIリピーター2台を使用した構成で、3セグメントとも100BASE-TXの場合、最大ケーブル長は205m以内となります。リピーター間の接続は、最大ケーブル長が5m以内となります。



Class IIリピーター2台を使用した構成で、3セグメントとも100BASE-FXの場合は、最大ケーブル長(セグメントA + セグメントB + セグメントCの合計)が228m以内となります。



Class IIリピーター2台を使用した構成で、各セグメントに100BASE-TXと100BASE-FXが混在している場合は、最大ケーブル長(セグメントA + セグメントBの合計)が216.2m以内となります。100BASE-TXのセグメントAに最大100m、セグメントBに5mを使用した場合、216.2m - 105m = 111.2mが100BASE-FXで使用できる最大ケーブル長となります。



製品仕様

サポート規格
IEEE802.3/IEEE802.3u

100BASE-FX
(マルチモード光ファイバー SC/ST型コネクタ)
波長 : 1300nm
送信光パワー : -20.0dBm ~ -14.0dBm
受光感度 : -31.0dBm以下

転送モード
ストア&フォワード

電源部
定格入力電圧 : AC 100-240V
入力電圧範囲 : AC 90 ~ 265V
定格周波数 : 50/60Hz
最大入力電流 : 0.5A
平均消費電力 : 17W (最大24W)
平均発熱量 : 15kcal/h (最大20kcal/h)

環境条件
保管時温度 : -20 ~ 60
保管時湿度 : 95%以下(ただし、結露なきこと)
動作温度 : 0 ~ 40
動作湿度 : 80%以下(ただし、結露なきこと)

外形寸法(突起部含まず)
: 263(W) x 179(D) x 38(H)mm

重量 : 1.5kg

アドレス登録数 : 8K

アドレス保持時間 : 300 ~ 600sec

メモリ容量 : 512K bytes

適用規格 : UL1950 CSA C22.2 No.950
安全規格 : VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報記述装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

保証の制限
本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、別紙の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接のお問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話によるお問い合わせよりも早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター
Tel: 0120-860-772
月～金(祝・祭日を除く)10:00-19:00
土(祝・祭日を除く)10:00-17:00
Fax: 0120-860-662
年中無休 24時間受け付け

安全のために

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

異物はいれない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙に書ききれない場合は、別途プリントアウトなどを添付してください。

使用しているハードウェアについて
製品名、製品のシリアル番号(S/N)、リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、リビジョンは、製品の底面に貼付されているバーコードシール(シリアル番号シール)に記載されています。

(例)

お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に再現できるように記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

必ずお守りください

通風口はふさがらない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ
油煙や湯気のある場所には置かない
火災や感電の原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

異物はいれない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

光源をのぞきこまない
目に障害が発生する場合があります。光ファイバーケーブルのコネクタ、ケーブルの断面、製品本体のコネクタなどをのぞきこまないでください。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください
・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)

おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 1999 アライドテレシス株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

1999年10月 Rev.A 初版

お手入れについて

取り扱いはていねいに
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな 中性洗剤 使用 強く絞る 禁止

湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
・腐食性ガスの発生する場所

油煙や湯気のある場所には置かない
火災や感電の原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

異物はいれない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

光源をのぞきこまない
目に障害が発生する場合があります。光ファイバーケーブルのコネクタ、ケーブルの断面、製品本体のコネクタなどをのぞきこまないでください。

ぬらすな 中性洗剤 使用 強く絞る 禁止

取り扱いはていねいに
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな 中性洗剤 使用 強く絞る 禁止

アライドテレシス株式会社

調査依頼書(CentreCOM® FS702TXL/FCL/FTL)

年 月 日

一般事項

1. 御社名:

部署名:

ご連絡先住所: 〒

TEL: ()

ご担当者:

FAX: ()

2. 購入先:

購入先担当者:

購入年月日:

連絡先(TEL): ()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号(S/N)、リビジョン(Rev)

製品名: CentreCOM FS702TXL・FS702FCL・FS702FTL

(ご使用の製品名を で囲んでください。)



S/N _____ Rev _____

2. お問い合わせ内容

別紙あり

別紙なし

設置中に起こっている障害

設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

別紙あり

別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。